

# 臨時会

平成22年第3回臨時会が5月20日に開催され、副町長の選任をはじめ、専決処分の承認など5議案を審議し、いずれも同意・承認しました。

## 副町長に本松氏

平成22年第3回臨時会が5月20日に開催され、古野和雄氏の後任の副町長に本松吉憲氏を全会一致で選任、同意しました。



もとまつきちのり  
本松吉憲氏(59歳)

住所 中山2021番地1  
任期 平成22年5月21日  
～平成26年5月20日

### 【あいさつ】

このたび副町長を拝命し、その責任の重さを痛感しています。微力ではありますが、誠心誠意町長を補佐し、町政発展のため全力でその職責を全うする覚悟でございますので、よろしくお願いたします。

### 【略歴】

昭和48年鞍手町に奉職、水道課長、まちづくり対策課長、建設課長、企画財政課長を歴任し、平成22年5月20日退職

## 専決処分の承認

○平成21年度一般会計予算を補正  
(全員賛成で承認)

(全員賛成で承認)

国、県支出金、地方譲与税及び県交付金、地方交付税等の確定が遅れたこと、歳出の執行残を減額したことなどにより、歳入歳出それぞれ1億1692万円を減額し、予算総額を62億2717万円としました。

○平成21年度下水道会計予算を補正  
(全員賛成で承認)

(全員賛成で承認)

一般会計基金繰入金金の減額や町債の減額、歳出の執行残を減額したことなどにより関係予算項目を調整し、予算総額を7億5331万円としました。

○平成21年度かんがい施設会計予算を補正  
(全員賛成で承認)

(全員賛成で承認)

平成21年度予算において、事業費の執行残を減額したことに伴い関係予算項目を調整、予算総額を5541万円としました。



新北排水機場

○平成21年度谷山池パイプライン水利施設会計予算を補正  
(全員賛成で承認)

(全員賛成で承認)

平成21年度予算において、歳出の執行残の減額を行ったことに伴い関係予算項目を調整、予算総額を779万円としました。



谷山池

# 行政報告

第3回臨時会と第4回定例会において下記の報告がありました。

## 「第3回臨時会」元職員の高横領事件の判決（町長）

元会計収納対策課職員による高横領事件の判決について、行政報告をいたします。

事件発覚以来、町民の皆様並びに町議会議員各位に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことに、改めてお詫びを申し上げます。

平成21年11月19日に元職員が1億5099万6280円を業務上横領した容疑で逮捕され、同年12月10日に1億4000万3300円を、又本年2月22日に5095万2980円についても横領したことで、福岡県地方検察庁直方支部へ送検、起訴されてきました。4月28日福岡地方裁判所直方支部での、第4回公判で、裁判長が元職員に対し、懲役6年の有罪判決

を言い渡しました。高横領という犯罪行為を行った本人の公務員倫理の欠如や、反社会性が要因でありませんが、公判では公印等の管理が杜撰で基金台帳が作成されていなかった等、町の会計業務の管理体制に少なからず不十分な点があったことも指摘されています。

町内小学校教諭による道路交通法違反、酒気帯び運転の処分について行政報告をいたします。

この事件につきまして、逮捕以来町民の皆様をはじめ町議会議員各位に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことに、改めてお詫び申し上げます。

本年2月10日午前0時頃、遠賀町木守の県道で剣南小学校の教諭が、道路交通法違反、酒気帯び運転容疑で逮捕され、福岡地方検察庁小倉支部へ送検、起訴されてきました。4月27日福岡地方裁判所小倉支部での公判で、裁判官は教諭に対し懲役6ヵ月、執行猶予2年の有罪判決を言い渡しました。

## 「第4回定例会」道路交通法違反及び酒気帯び運転の処分（教育長）

会と同教諭の刑が確定したことにより、地方公務員法の規定に基づき、5月11日限り失職したとの通知を5月12日にいたしました。この事件で裁判官の主文では、被告人自身飲酒運転をしたことが、3年前からの期間で3回ぐらいいった旨を述べていることからすると、飲酒運転の常習性も十分伺われ、また本件犯行の発覚を免れようと、知人を通じて自車をレッカー移動させようとしていたことからすると、被告人の遵法精神や、規範意識には相当問題があることが伺えること等から、本件の感情は良いものではないと見做されます。また被告人は勤務先の小学校において教務主任という一般の教諭らを指導しそ

の模範となるべき立場にあって、本件犯行は児童やその保護者を含む教育関係者の信頼を裏切るものであることなどを合わせ考慮すると、被告人は強い非難に値すること等が指摘されました。

今後、二度とこのような不祥事を起こさないよう、また1日も早く町民の皆様、保護者の皆様への信頼を取り戻せるよう努力することはもちろんのこと、綱紀の厳正な保持のために、全教職員への指導を徹底しているところでございます。

また、福岡県教育委員